

別記様式（第6条関係）

令和3年4月28日

奥州市議会政務活動費収支報告書

奥州市議会議長 宛

議員氏名 渡辺 忠



令和2年度分の政務活動費の収支を次のとおり報告します。

1 収入

項目	金額	内訳
政務活動費	144,000円	@12,000円×12月
自己負担	円	
合計	144,000円	

2 支出

項目	金額	内訳
研究研修費	25,660円	別紙のとおり
調査旅費	円	
資料作成費	円	
資料購入費	円	
広報費	2,640円	別紙のとおり
広聴費	円	
要請及び陳情活動費	円	
会議費	円	
人件費	円	
事務所費	円	
合計	28,300円	収入支出差引残金 115,700円を返金する

令和02年度 政務活動費 支出内訳表

議員名	渡辺 忠
-----	------

項目	整理番号	金額	内 訳
1	研究研修費		
	01-01	25,660	議員・職員のための地方議員政策づくりのポイントin盛岡
	小 計	25,660	
2	調査旅費		
	小 計	0	
3	資料作成費		
	小 計	0	
4	資料購入費		
	小 計	0	
5	広報費		
	05-01	2,640	「奥和会だより」印刷代
	小 計	2,640	
6	広聴費		
	小 計	0	
7	要請及び陳情活動費		
	小 計	0	
8	会議費		
	小 計	0	
9	人件費		
	小 計	0	
10	事務所費		
	小 計	0	
合 計		28,300	

政務活動費 支出整理票			整理番号	01 - 01
			支出整理日	令和 02 年 06 月 17 日
令和02年度	議員名	渡辺 忠	支出項目	研究研修費

金額	25,660	円
----	--------	---

使途： 議員・職員のための地方議員政策づくりのポイントin盛岡

実施日：2020年6月25日（木） 会場：マリオス

No.	支出の明細	支出日	領収書金額	対象外	対象支出額
1	セミナー受講料	R02-06-17	25,000		25,000
2	振込手数料	R02-06-17	660		660
3					0
4					0
5					0
6					0
7					0
8					0
9					0
10					0
合計			25,660	0	A 25,660
按分の内容				按分割合	B
按分後対象支出額 (A × B (按分がない場合はA再掲))					C 25,660

備考	

領収書貼付欄 (貼りきれない等の場合は裏面又は別紙に貼付して差し支えないこと)

# 領収証

No. ....

2020年6月25日

渡辺 忠 様

金額

**¥25,000**

内

消費税等

現金

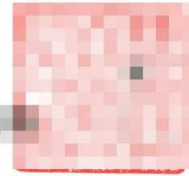
但 6月25日セミナー受講料として  
上記正に領収いたしました

収入印紙

〒112-0011

東京都文京区千石2-34-6

株式会社 地方議会総合研究



振込金受取書 (兼振込手数料受取書)  
 預金払戻請求書 による振込受付書 (兼振込手数料受取書)

2 年 6 月 17 日

岩手銀行  岩手銀行  銀行 馬金 信組 農協 その他

振込金額 1314699

普通  当座  貯蓄  その他

振込先 (株) 地方議会総合研究所様

振込先住所 岩手県奥州市厩沢小山字下大谷地44-5

振込先電話番号 0197471567

お振込手数料 (消費税込込み) 7660

当行をご利用いただきましてありがとうございます。今後ともよろしくお願い申し上げます。



株式会社 岩手銀行

このお振込は翌営業日扱としてお預りました

613462 (02.02)

- 振込依頼書に記載相違等の不備があった場合には、照会等のために振込が遅延することがあります。
- やむを得ない事由による通信機器、回線の障害等により振込が遅延することがありますので、ご了承ください。
- ご指定の口座から預金を払戻して振込む場合、その払戻しができないときは振込はできませんのでご注意ください。なお、預金からの払戻しは振込日に行います。

請求書

2020年6月15日

渡辺 忠 様

株式会社 地方議会総合研究  
代表取締役 廣瀬

下記の通り、ご請求申し上げます。

住所：〒112-0011  
東京都文京区千石2-34-6  
TEL:03-6912-1930 FAX:03-6912-2280

合計金額

25,000 円

振込先

みずほ銀行麹町支店  
普通 1314699  
株式会社 地方議会総合研究所  
【フリガナ】  
カ) チホウギカイソウゴウケンキュウジョ

内容	単価	人数	金額
2020年6月25日セミナー受講料として	25,000	1	25,000
		合 計	25,000
備考			



議員・職員のための

# 地方議員政策づくりのポイント in 盛岡



講師 佐々木 信夫

【中央大学名誉教授(法学博士)】

早稲田大学大学院政治学研究所修了。慶應義塾大学大学院にて法学博士号取得。東京都庁16年間の勤務を経て、聖学院大学教授、中央大学教授・同大学院教授を歴任し2018年より現職。他(社)日本国づくり研究所理事長、事業構想大学院大学客員教授、大阪府市特別顧問等。専門は行政学、地方自治論、地方議会論。第31次地方制度調査会委員等も歴任。主な著書に『この国のたみ方』、『地方議員の逆襲』、『地方議員』、『元氣な日本を創る構造改革』など多数。

この講座では各地方議会、地方議員に最も必要とされる政策力の向上、政策提案、政策討論、政策評価の視点など議員力向上に向けたアップデートなお話をします。地方議会が自治体政治をリードする、それが地方創生の時代です。

6/25(木)  
10:00~17:00

マイオス  
180会議室 in 盛岡

## 第1部 地方分権ーなぜ議員に政策づくりが必要か

1. 地方分権って何? 日本の分権改革はどの段階にあるか
2. 地方自治の本旨、車の両輪とは? 2元代表制のしくみ
3. 憲法における地方議会の役割、  
諸外国の地方議会はどうなっている?
4. 求められる地方議員の4大役割  
「決定者・監視者・提案者・集約者」は?

## 第2部 地方創生ーどのように政策をつくるか

5. 地方創生は誰がやる、議員は?  
政策って何? 政策過程での議員の役割
6. 政策をつくる4パターン  
(道路、環境、介護、子育て)、そのポイント?
7. 政策を評価する4つの視点?  
監査、議会(決算委員会)はどう関わるか
8. 地方衰退・発展は誰が責任を負う?  
行政(政治)責任の4つのレベル

(株)地方議会総合研究所

政務活動費 支出整理票			整理番号	05 - 01
			支出整理日	令和 03 年 01 月 18 日
令和02年度	議員名	渡辺 忠	支出項目	広報費

金額	2,640	円
----	-------	---

使途：「奥和会だより」印刷代

No.	支出の明細	支出日	領収書金額	対象外	対象支出額
1	印刷代	R03-01-18	2,640		2,640
2					0
3					0
4					0
5					0
6					0
7					0
8					0
9					0
10					0
合 計			2,640	0	A 2,640
按分の内容			按分割合		B
按分後対象支出額 (A × B (按分がない場合はA再掲))					C 2,640

備考	(単価)80円×30部+消費税
	.....
	.....
	.....

領収書貼付欄 (貼りきれない等の場合は裏面又は別紙に貼付して差し支えないこと)



No. \_\_\_\_\_

# 領 収 証

渡辺 忠 様

令和 2 年 1 月 18 日

金額	千	百	拾	万	千	百	拾	円	係 印
				9	2	6	4	0	

但し  上記の金額有難く領収致しました

種 別	金 額	摘 要
入金 現金・小切手		
内 相 殺		
戻 振 込		
消費税		

この領収証で係印の無いもの並びに金額を訂正してあるものは無効です。



**あべ印刷株式会社**  
 代表取締役 阿 部 由 也 夫  
 〒023-0003 岩手県奥州市水沢佐倉河字東  
 TEL (0197) 24-8330  
 FAX (0197) 24-8330



あ わ か り

No.7

# 奥和会だより

【発行責任者】奥和会会長 渡辺 忠 【発行日】令和2年12月28日

## 挨拶



奥州市議会派  
奥和会 会長  
渡辺 忠

市民の皆様には、日頃より奥州市議会に對しまして、又、当会派「奥和会」に對しましても御指導をいただいておりましたことに心から感謝、御礼を申し上げます。さて、奥州市議会も改選されてから三年目を経過し、任期最後の四年目を迎えるようとしていきます。特に新型コロナウイルス対策に重点



奥州市議会 議長  
小野 隆夫

このたび奥和会機関紙「奥和会だより」第七号の発刊にあたり、拙稿ながら一文寄せさせていただきます。さて、昨年一年は新型コロナウイルスに翻弄された一年でした。そして、いまだ感染が治らないまま年を越してしまいました。そのような中、議会の在り方についても考えなければならぬことが多々ありました。その一つが、「議会業務継続計画」いわゆる「議会BCP」であります。議員の参集が困難な場合においても、オンラインで会議に参加出来るという取り組みです。このことは災害に限

## 「議会も時代の変化と共に」

らず、育児や介護中であっても審議可能となります。今般のコロナ禍は、新たな時代への対応について考えるきっかけを作ってくれたことは事実であります。今年奥州市議会では、全国マニフェスト大賞議会部門において、最優秀賞を受賞することが出来ました。時代は常に目まぐるしく変化します。その時代に対応すべく、議会の在り方も常に見直していかなければなりません。現在市議会では、議会基本条例の見直しをしております。議会改革に終わりはありません。「市民に開かれた」議会の実現に向けて不断の努力を尽くしてまいりたいと思っております。市議会最大会派である「奥和会」に期待するところ大であります。奥和会のご活躍を祈念いたします。



をおき、市当局との更なる連携を図りながら、市民の安全、安心を守りつつこの難局を乗り越えなければなりません。今こそ、市当局と我々議員の今後の活動に力を合わせ乗りこえる時であると思っております。

## 「一般質問の状況」

二〇二〇年に開催された四回の定例会において、奥和会メンバーは次の通り一般質問を行いました。各自所感を述べるとともに、市当局の姿勢等の検証や各種提言をしました。

### 2月定例議会

- 菅原 由和議員
  - 都市計画と公共施設マネジメントについて
  - 指定管理者制度について
- 中西 秀俊議員
  - 公共交通について
  - スポーツの推進について
- 高橋 浩議員
  - 学校再編について
  - 地域医療について
- 渡辺 忠議員
  - 地方版総合戦略について

### 6月定例議会

- 中西 秀俊議員
  - 江刺東地域の保育所と小学校の統合について
- 千葉 和彦議員
  - 高齢者支援策について
- 小野 満議員
  - 新型コロナウイルス感染症対策について
  - 財政健全化について
- 中西 秀俊議員
  - 江刺地域の小・中学校統合計画について

### 9月定例議会

- 中西 秀俊議員
  - 江刺地域の小・中学校統合計画について

### 12月定例議会

- 菅原 由和議員
  - 学校給食施設について
  - 子どもの健全育成について
- 中西 秀俊議員
  - 江刺地域の小・中学校再編計画について
  - 投票区再編計画について
- 高橋 浩議員
  - 空き校舎の有効活用について
- 小野 満議員
  - 林業振興策について
  - 農業振興について
  - 障がい者福祉について
  - 学校施設整備について
- 千葉 和彦議員
  - 鳥獣被害対策について
  - 農業振興について
- 菅原 由和議員
  - ヘリポート整備について
  - 学校及び教育・保育施設等における相談支援体制について
  - 都市プロモーションについて
- 藤田 慶則議員
  - 企業誘致について
  - 市有財産の活用について



将来展望は住民と共に!!



最近思うことが沢山あることを感じながらも、先のばしはこれ以上許されない状況であると思っています。

それらは、奥州市のみならず、全国でも共通認識ととらえている。

市営三スキー場のあり方、類似施設の見直し、温泉施設のあり方、学校施設の集約化等も、今後の焦点となると思う。

ある施設を今後どう生かすのか。人口減少対策と同時に、施設のあり方も検討されなければならない。まった無しである。

合併前の旧市町村時代に建設された類似施設の集約化も皆んなで検討され、工夫と判断が必要であり、今後の大きな課題であると思う。

いずれ厳しい財政状況を示しながら、将来展望を住民と共に考え、まずは、施設のあり方、生かし方を皆んなで語り合い、住民合意を得ながら前に進む時であると思います。

合併の効果も皆んなで語り合うと共に、無いものを求めるのではなく、あるものを工夫と知恵でも

つて議論しあうことよによって、奥州市の進む方向性が見えてくる。お互いに批判しあうのでは無く、小さなことでも合併したから達成できたということも最近多く聞かれるようになってきている。

この厳しい時代を市民一人ひとりが小さなことでも分けあい、尊重し合うことが乗りきっていきける。それが奥州市の発展であり、ここに住む人々の幸せに結ばれてくれると思います。



視点

我が家から、西に奥羽山脈、東に北上山地、南東に東稲山を眺め、六五年が過ぎた。山々は特段変わった様子もなく、当たり前前の風景であるが、最近では岩手・宮城内陸地震・東日本大震災・ゲリラ豪雨・コロナ禍と、よく一〇〇年に一度ともいわれる非日常的なことが起こっている。

そんな中、奥州市議会・産業経済常任委員会では、商工業の振興策をテーマに、若者が集う・これからのまちづくりをサブテーマに名前の市民の方々の出席をいただき、ワールドカフェ方式で話し合いを

しました。ある商店街では、以前は三〇を超える店舗があったが、現在、販売を行っていないのは、五店のみで商店街ではない、住宅街になっている。奥州市の中心市街地活性化は不可能になってきている。大胆な施策が必要ではないか。

商店も農業と同じく後継者不足である。大手資本と勝負するには、違う土俵で戦う、専門性を活かす商売でないと難しい。空き店舗の有効活用。カヌーをはじめスポーツの大会・合宿誘致により人を呼びこむべき。やる気のある方は少なからずいるので、その方々を育成する勉強会の開催などを継続的に実施し、新たなアイデアを出せる環境を整備してほしい等々の意見が出されました。最後にワールドカフェは良いこと、テーブルから出た提案を進めてほしいという要望も出されました。

改めて、アンテナを高くし、時は、場所を変えて山々を眺めるがごとく、視点を変えて物事を見ることが大事と感した。



しあわせについて

人は、どうすれば幸せを感じ、満ち足りた気持ちになれるのでし

ようか。欲しいものを手に入れたり、自分がやるうと決めた目標を達成することできれば満足するのでしようか。

試験に落ちるより合格したほうがよい、お金はないよりあったほうがよい、会社に入ったら昇進したい、好きな人から愛されたいという希望が満たされれば幸せになるのでしょうか。現実はその単純ではありません。どれほど成功をおさめ、お金持ちになってもあまり自分の境遇に満足していかない人もいます。

反対にお金や社会的な地位がなくても、家族を大事にして人生を楽しむ、感謝しておだやかに暮らしている人もいます。人間の欲望には限りがありません。あの服が欲しい、好きな人やらちやほやされたい、みんなからちやほやされたい。そうした欲望は、満たされれば満たされるほど、もっと多くのものを望む気持ちが生れます。欲望を追いかけているだけでは、決して幸せな人生を送ることはできないと言います。

欲望から完全に解放されるのは難しいことです。一歩引いて、正しいことをするために少し損をしてもいいと考えられるようになることも大切です。幸せになるには「夢と希望」と

いくらかのお金は必要です。少なくとも、自分にも、他人にも、どちらにとってもプラスになることをしようと心がけましょう。うまくいった人をうらやましがって、嫉妬するのではなく、「自分は自分、他人は他人」と考えるようにすれば、おだやかな気持ちでいられます。自分はそのために生きるのかを考え、高い目標を持つて生きるようにしましょう。

「目標や夢に近づこう」と思うかどうかでもないや、楽しく生きれば「いいや」と思うので、その人の生き方は大きく異なります。コロナ禍で本を読んで



「絶対は絶対がない」積極果敢な挑戦を

明智光秀による本能寺の変で天下統一を目前にして生涯を終えた織田信長は、それまでの常識や価値観にとらわれない新しい発想で時代を切り拓き、日本史上類を見ない大改革者といわれております。兵農分離や鉄砲の導入、楽市・楽座や関所の廃止などの規制緩和を進めたほか、天下布武を掲げて天下統一のビジョンを明確にするなど、枚挙にいとまがありません。



した。

その信長の名言に「絶対は絶対ではない」という言葉があります。これは、絶対には不可能と思えることでも突破口はある、絶対には大丈夫だと思つた時点で隙が生まれるという二つの意味を持ち、常に考えて行動せよ、大丈夫と思つた時点で成長は止まるということであり

ります。議会の役割は行政のチェック機能・監視役と言われてきましたが、現在はそれのみならず、市民の声の反映や重要課題の解決のためにも、議会自らが政策の立案や提言をすることも重要な役割であり、奥州市議会ではこの間、常任委員会から市当局に対する政策提言をするなど様々な改革を進めて参りました。その取り組み成果として今年度公表された議会改革度ランキングで全国第九位、また、マニフェスト大賞の議会部門では最優秀賞を受賞することができました。今の規則や慣習が絶対ではなく、変えるべきもの、変えざるべきものを的確に見極めながら、積極的に行動に移していくことが重要であり、二元代表制の一翼である議会が変わっていくことが、結果として地域の課題解決や住民福祉の向上に繋がるものと強く思っております。引き続き歩みを止めることなく、議会改革に積極果敢に挑

戦して参ることを改めて決意する次第であります。



千葉 和彦 (水沢買城出身)

令和二年は、新型コロナウイルスにより私たちの生活スタイルが一変した一年となりました。そして未だコロナ禍の終息が見通せない状態となっております。奥州市においては、予算を何度も組み直し補正予算にて新型コロナウイルス感染症対策を講じてきました。市議会におきましても支援対策を重点的に協議・検討を重ねてきた一年でありました。

さて、二〇〇六年に誕生した奥州市は一五年目を迎えようとしております。これまで新設合併市として、「各地域の均衡ある発展」を目標に新市づくりに取り組んできました。しかしながら、その間少子高齢化・人口減少、公共施設の老朽化対応や施設再編が進まない状況が続き、更には普通交付税の合併算定替えの影響もあり、現在市では厳しい財政運営が強いられ、財政健全化に向けた対策に取り組んでいくことが急務という状況にあります。今後、財政再建に向けた本格的な取り組みが

進んでいきますが、私も初心を忘れず、課題の先送りとならないよう議会の場において、是々非々の立場で課題解決に臨んでいきたいと思っております。幸い奥和会では、経験豊富な諸先輩が多く、様々な市政課題に対し色々とアドバイスをもらいながら議員活動をしていくことができております。

一〇年後・二〇年後の住みやすい奥州市をつくるため、市民皆様からいただくお一人おひとりの声を大切に、その課題解決に向けて丁寧に向き合い、まじめに取組んでいきたいと思っております。



小野 浩満 (水沢買城出身)

奥州市の未来のために 財政健全化を

本市では、平成二九年三月に「奥州市行政改革プラン」(四か年計画)を策定し、限られた経営資源(職員・資産・資金)を最大限に活用し、最大の効果を上げる行政経営改革に取り組んできました。本プランの中間年である令和元年度に中間評価を行いました。目標四四項目に対し、達成した項目は二三項目に留まりました。平成二八年度以降、国からの普通地方交付税が急激に減少したた

め、歳出を削減するため小学校の再編、公共施設の統合、観光施設(温泉施設、スキー場等)の民間移譲等に取り組んでいますが、いまだにその成果は得られていません。

現在のふるさと納税の伸長や市税徴収率向上、職員数の削減だけでは、歳入・歳出の均衡を支えられない状況となっております。このような状態が続けば、市の財政調整基金を毎年取り崩し、やり繰りを行わなければなりません。令和二年度一般会計予算も歳入が不足したため、財政調整基金から三〇億円を超える額を繰入しました。毎年このように歳入不足が生じれば、令和五年度には財政調整基金が枯渇する恐れがあります。早急に財政の健全化に向けた事業を進め、成果を上げる必要があると思

います。



高橋 浩 (江刺伊手出身)

すべき事

政治家とは、「議会議員を指す事が多く、議案を決め、様々な案件を議論し、方向性を見つけていくことが仕事の中心である。様々な人物と交流し、案件を吸い上げ、他の議員との情報交換も重要で、

先見性・情報収集力・分析力・決断力も必要とされる」と言われます。

当初、政治家と言う言葉に照れや、気恥ずかしさを感じましたが、議会や委員会等を通じ、提出された議案等は市民生活に直結する事を考えると、改めて立場の重要性を感じます。又、地域で見開きした現状や意見を基に、議会で質問し、意見を述べる事が市民意見の反映と考えます。その答弁や現状を市民に伝える事も重要な役割と考えます。そのために日々様々な人との交流を意識し、多くの人とお話しをする中から、現状と理想とのギャップを探ることが問題点の発見に繋がります。そのギャップをどの様な施策で埋めれば目標や理想に近づけるか、達成する為の「すべき事」を模索し「施策に繋げる事」が仕事と考えます。

今後も、多くの皆様からお話しや御指導をいただき、伺った問題や意見等を行政にどの様に反映させるか、会派内や同僚議員と情報交換を深め、政治家としてより良い奥州市発展に繋がるよう、未熟ですが今後も研鑽努力して参ります。



